



令和 8 年 9 月 14 日

道路局国道・技術課

持続可能なインフラメンテナンスを支える点検支援技術を募集します ～橋梁、トンネル点検支援技術の社会実装・普及を推進～

国土交通省では、新技術を用いた道路構造物点検の効率化・高度化を推進することを目的に、点検に活用可能な技術を取りまとめた「点検支援技術性能カタログ」の整備を行っています。

このたび、掲載技術の更なる拡充や更新を図るため、「橋梁点検」「トンネル点検」に関する点検支援技術を下記のとおり公募します。

※直轄国道の橋梁・トンネルの定期点検業務の一部項目において、点検支援技術の活用を原則化しています。

1. 公募期間

令和 8 年 9 月 14 日（月） ～ 令和 8 年 10 月 15 日（木）

2. 公募要領、応募資料作成要領、応募様式等

下記 URL よりご確認・ダウンロードしてください。

【橋 梁】https://www.jbec.or.jp/tenken_shien/publicappeal/

【トンネル】https://www.cmi.or.jp/publiccommenttenken_shien/

3. 技術公募や技術検証の手続の窓口

【橋 梁】一般財団法人 橋梁調査会 点検支援技術担当

TEL:03(5940)7794 E-mail: br-koubo@jbec.or.jp

【トンネル】一般社団法人 日本建設機械施工協会 施工技術総合研究所

トンネル点検支援技術担当

TEL:0545(35)0212 E-mail: r8tn-koubo@cmi.or.jp

※上記法人は、道路技術懇談会を経て「新技術の導入を促進するために国土交通省道路局と連携して新技術の活用に必要な技術基準類の検討や技術の実証を行うための第三者機関（導入促進機関）」として選定されている機関です。

4. 参考資料

別添 1：点検支援技術性能カタログの概要

<問い合わせ先>

道路局 国道・技術課

TEL: [代表]03(5253)8111、[直通]03(5253)8498

【全 般】児玉、中里（内線 37862、37866）

【橋 梁】岩本（内線 37865）

【トンネル】谷本（内線 37893）



○ 点検支援技術性能カタログは、国が定めた標準項目に対する性能値を開発者に求め、開発者から提出されたものを技術の確認を経てカタログ形式でとりまとめたもので、受発注者双方が参照することで、道路構造物点検における新技術の活用促進を図っています。
(令和8年4月時点で、橋梁・トンネル・土工・舗装点検及び道路巡視の分野に関して全407技術掲載)

＜主な掲載技術＞

【橋梁・トンネル】 (H31. 2 ～) 【土工】 (R5. 11 ～)

画像計測

- ・橋梁 : 91(11)技術
- ・トンネル : 40 (2)技術
- ・土工 : 10 (3)技術



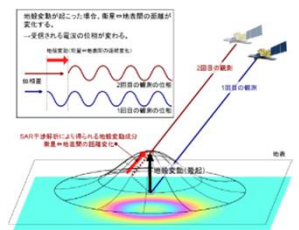
ドローンによる損傷把握



レーザースキャンによる変状把握



MMS※1を活用した
斜面・のり面点検



衛星SAR等を活用した
道路土工点検及び防災点検※2

非破壊検査

- ・橋梁 : 48(4)技術
- ・トンネル : 25(2)技術
- ・土工 : 2 (-)技術



AEセンサを利用した
PCグラウト充填把握



レーダーを利用した
トンネル覆工の変状把握

計測・モニタリング

- ・橋梁 : 76(5)技術
- ・トンネル : 22(3)技術
- ・土工 : 1(1)技術



光ファイバーセンサによる
橋梁モニタリング



トンネル内附属物の
異常監視センサー

データ収集・通信

- ・5(1)技術

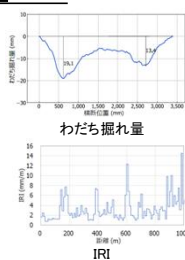
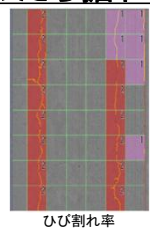
【 舗 装 】 (R4. 9 ～)

ひび割れ率・わだち掘れ量・IRI

- ・55(15)技術



AIによる自動判定



スマートフォンで取得した画像
と加速度による路面性状測定

【 道 路 巡 視 】 (R5. 3 ～)

ポットホール・区画線の摩耗・建築限界の超過・標識隠れ

- ・32(7)技術



スマートフォンで取得した画像
によるポットホール検知



ドライブレコーダーで取得した
画像による区画線の摩耗判定

令和8年度 新規掲載技術の例<橋梁>

- 令和8年度は、橋梁の点検に活用できる技術を新たに20技術追加。
- 狭い空間や水があって進入できない箇所を水陸両用狭あい部点検ロボットにより点検する画像計測技術、ドローンに搭載した赤外線カメラ画像から床版劣化を検知する非破壊検査技術、マルチビーム・LiDAR複合計測により橋脚部の洗掘状況を測定する計測・モニタリング技術等を新たに掲載。

従来点検



進入困難箇所の近接目視



手作業による損傷の検出



手作業による
下部工洗掘状況の計測



点検支援技術

画像計測技術(11技術)



水深170mm まで



水深170mm 以上
(フロート使用)

狭隘空間、水のある箇所に進入して画像を取得

<掲載技術名>

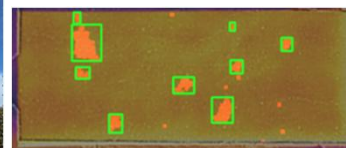
水陸両用狭あい部点検ロボットを使用した点検支援技術

(検出項目: ひびわれ)

非破壊検査技術(4技術)



測定の状況



赤外線画像の解析結果
(緑枠内が検出した損傷)

ドローンに搭載した赤外線カメラ画像を解析
表面温度分布の違いから損傷を検知

<掲載技術名>

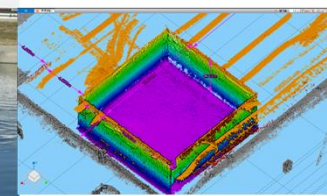
ドローンと赤外線カメラを用いて、舗装表面温度から床版劣化を特定する技術

(検出項目: 床版劣化)

計測・モニタリング技術(5技術)



測定の状況



計測結果による3D図

マルチビーム・LiDAR複合計測による
橋梁の水陸一体3D点群化技術(洗掘)

<掲載技術名>

マルチビーム・LiDAR複合計測による橋梁の水陸一体3D点群化技術(洗掘)

(検出項目: 洗掘)

令和8年度 新規掲載技術の例<トンネル>

- 令和8年度は、道路トンネルの点検に活用できる技術を、新たに7技術追加。
- 手押し式台車型の覆工画像撮影システムにより半断面分の覆工画像を同時撮影する技術、レーザにより覆工内部のうきを検出する技術、計測機器を搭載した車両で走行することにより、トンネル内のデータを取得し三次元画像・点群データ等を表示する技術等を追加。

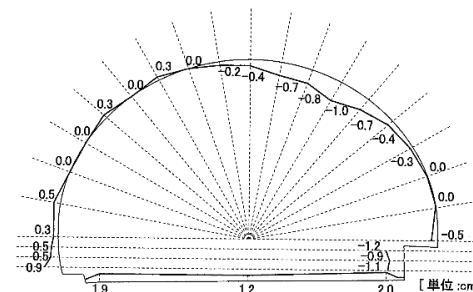
従来点検



近接目視により、覆工のひび割れ等の有無を確認



打音検査により、うき等による打音異常の有無を確認



断面計測結果のとりまとめ

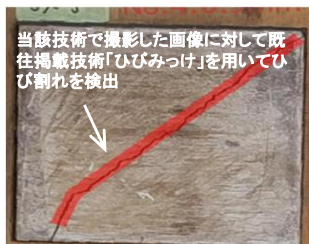


点検支援技術

画像計測技術(2技術)



半断面分の覆工画像を同時撮影



当該技術で撮影した画像に対して既往掲載技術「ひびみつけ」を用いてひび割れを検出

手押し式台車型の覆工画像撮影システムにより半断面分の覆工画像を同時撮影

<掲載技術名>

台車型トンネル覆工画像同時撮影システム

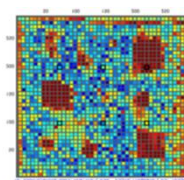
(検出項目※: ひび割れ、漏水等)

※取得画像の目視確認又は変状抽出ソフトウェア技術等の併用による

非破壊検査技術(2技術)



レーザにより覆工内部のうきを計測



技術による計測結果(赤色に着色された箇所が変状と判定される)

レーザにより、覆工内部のうきを検出

<掲載技術名>

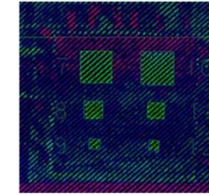
うき検出小型レーザ点検装置

(検出項目: うき)

計測・モニタリング技術(3技術)



全方位画像を取得可能なカメラ及びレーザ等により覆工表面を計測



点群データから、覆工表面のうき箇所を着色(緑色)表示

計測機器を搭載した車両で走行することにより、トンネル内のデータを取得し、三次元画像・点群データ等を表示する

<掲載技術名>

可搬型計測システムによるトンネル形状計測

(検出項目: 変形、うき・はく離(変位をとまなうもの)等)